



ほん 大好き

INFORMATION Book

今月 **新しく** 入りました。

※7月の新刊は、2日（木）から貸し出しを始めます。

📖 一般の本

- ・緋色の残響（著＝長岡弘樹）
- ・公安狼（著＝笹本稜平）
- ・さだの辞書（作＝さだまさし）

📖 子どもの本

- ・ごきげんな毎日（作＝いとうみく）
- ・いろんなでんしゃはっしやしまーす（作＝岡本雄司）
- ・あかり（作＝林木林）

中でもこの本が **オススメ** です。

魔女たちは眠りを守る

著＝村山早紀

魔女はすべてを覚えている。ひとの子がすべてを忘れても。どこか遠い空の彼方へ、魂が去って行こうともー

古い港町に、赤毛の長い髪をなびかせ、金色の瞳をした黒猫を連れた若い魔女の娘が帰ってきた。名前は、七重・マリィ・七瀬。目指すは、ひとの子たちが「魔女の家」と呼ぶ、銀髪の美しい魔女ニコラのカフェバー。

懸命に生きて、死んでゆくひとの子と、長い時を生きる魔女たちの出会いと別れの物語。



そのときがくるくる

作＝すずきみえ

小学校1年生のたくまは、ナスが苦手。ある時、おじいちゃんとおばあちゃんの家に泊まりにいくと夕ご飯にナスが！どうしてもナスを食べることができないたくまに、おじいちゃんは「いまはきらいでも、いつかきっと おいしく食べられるときがくるさ」と言います。

今まで嫌いだったものが、急に食べられるようになる「そのとき」。食べ物の好き嫌いが多い子にぜひ読んでもらいたい1冊です。



劇 団「無名塾」の主宰である仲代達矢。彼は八十七歳の今日も塾生と共に舞台上に立ち続けます。昨年の十月から今年の春にかけてはモリエールの戯曲「タルチュフ」を公演。およそ百ステージで主役の詐欺師をコミカルにエネルギーッシュに演じ、筑豊でも四ステージが上演されました。そのパワーの源は・・・

「生涯現役」「まだまだやりたいことはたくさんある」という仲代が、長年の役者人生を振り返った「自伝」。一人の人間としての生き様と語ってきた言葉が記された一冊です。

演じなさい、
生きろ！
著＝仲代達矢



池 のそばの草むらで仲良く遊んでいるのは、あまがえるのラッタ、チモ、アルノ。三匹がかくれんぼをして遊んでいると、ラッタの体に変な色になってしまいました。一体どうしてしまったのでしょうか。

身近な生き物であるあまがえるの筆で表情豊かに生き生きと登場します。愛しき小さな者たちの成長を描いた楽しい絵本です。

あまがえるの
かくれんぼ
作＝たてのひろし

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介します。今月の紹介者は石松一葉さんです。

広がる本だ

子どもお話の会お休みのお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策により、7月のお話の会はお休みします。

／開館時間は午前9時から午後5時まで（1階ロビー・返却窓口は午後9時30分まで）。

／7月の休館日は、1日（水）です。／返却期限が過ぎている本は、至急ご返却ください。